

「県北地域感染症情報レター」に関する御意見、御質問等につきましてメールにて返信くださるようお願いいたします。  
 県北保健福祉事務所生活衛生部医療薬事課 メールアドレス hofukunet\_kenpoku@pref.fukushima.lg.jp

## ★福島県感染症動向調査 週報★！県北地域情報！〈11月16日発表〉

(県内の情報及び週報は、「福島県感染症情報」を検索してください。)

### マイコプラズマ肺炎の患者数が、全国的に増加しています！

痰を伴わない乾いた咳や発熱が主症状で、解熱後も長期にわたり咳が続きます。14歳以下の子どもが、患者の約8割を占めます。感染経路は飛沫感染、接触感染です。手洗い、うがい、咳エチケットで予防しましょう。

## つつが虫病について

福島県は全国有数の多発地域です！

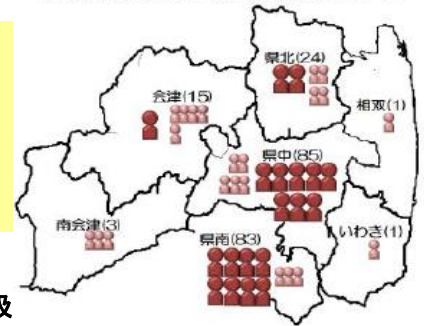
### 〇つつが虫病とは

つつが虫病は、*Orientia tsutsugamushi*を起病因菌とする感染症で、ダニの一種であるツツガムシによって媒介されます。人は、ツツガムシが生息する草むらなどで吸着され感染します。かつては山形県、秋田県、新潟県などで夏季に流行する風土病でしたが、現在は沖縄や北海道など一部地域を除き、全国で発生が見られます。

### ☆つつが虫の疫学

- ・平成27年には、**全国39都府県から418名**の患者が報告されています。
- ・福島県は全国有数の多発地域で、毎年30～50人前後の患者が発生しています。  
**※平成27年度は26名**
- ・春(3～6月)と秋(9～11月)に流行が見られ、これはツツガムシの種類と活動サイクルの違いがあるためです。

県内地域別患者発生状況(2010-2015年)



### 〇感染経路

病原体をもっているツツガムシは0.1～1%程度と考えられ、この有毒ツツガムシが人に吸着し、病原体が体内に入り込むことで感染します。ツツガムシは非常に小さく肉眼ではほとんど見えず、気づかないうちに衣服の隙間から入り込み、刺された時の痛みもほとんどないと言われています。**人から人に感染することはありません。**

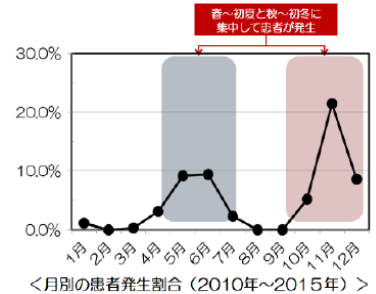
### 〇症状

潜伏期間は5～14日で、「**発熱」「発疹」「刺し口(刺された部位が痂皮化する)**」が主要3徴候とされています。他には頭痛、倦怠感、肝機能障害、リンパ節腫脹などがあります。「ひどい風邪」として受診や確定診断が遅れることもあり、適正な治療が行われないと重症化し、死に至ることもある病気です。

### 〇治療、予防

早期に本症を疑い、適正な抗菌薬で治療します。ワクチンは開発されておらず、完全な予防というのが難しい状況です。

- ①一部の虫よけスプレーに効果が認められていますが、持続時間が短いのでこまめにスプレーしましょう。
- ②野山や田畑等では長袖・長ズボンを着用し、素肌の露出を少なくしましょう。
- ③野山や田畑から帰宅後は、速やかに入浴、着替えをし、皮膚についたダニを洗い落としましょう
- ④野山や田畑に行った後に高熱や頭痛、だるさが続く...そんな時は早めに医療機関を受診しましょう。



## RSウイルス感染症について

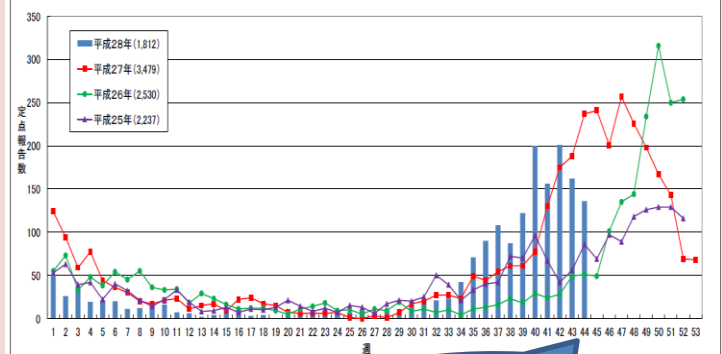
RSウイルス感染症は、秋から冬にかけて流行する、小児の代表的な呼吸器感染症です。

感染経路: 飛沫感染、接触感染

症状: 鼻水、咳、発熱が主症状。多くは1週間程度で治癒しますが、**生後数週間～数ヶ月の児では重症化しやすいので注意が必要です。**また、再感染の場合は比較的軽症で見逃されやすく、集団生活で感染を広げてしまうこともあります。

予防策: 咳エチケット、手洗いやうがいで予防します。また、おもちゃを介した感染にも注意してください。

RSウイルス感染症 週別発生状況



まだまだ流行中！

(参考) 国立感染症研究所 感染症疫学センター: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>  
 福島県衛生研究所: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21910a/>

